



喜びと感謝を胸に 新たな決意

1月13日(祝)、平成25年大村市成人式を市民会館で開催しました。

今年、平成4年4月2日〜同5年4月1日生まれの、928人の新成人が大人としての第一歩を踏み出しました。

会場では、スーツ姿や晴れ着姿の新成人が、久々の再会を喜び笑顔であふれていました。





新成人と市長との 新春座談会

今年成人式を迎える5人の新成人をお迎えして、市長と語り合う恒例の新春座談会を開催しました。大村で育ち、それぞれの夢に向かって歩んでいる新成人の皆さんがどのような価値観を持ち、故郷である大村市をどのように考えているのか、松本市長と対談していただきました。

最初は緊張した面持ちでしたが徐々に穏やかな雰囲気になりました。終始笑顔が絶えない対談になりました。出席された皆さんは、将来を見すえた熱い思いを語ってくれました。

その主な内容をご紹介します。



市長から新成人へのメッセージ

皆さん、ご成人おめでとうございます。若さあふれる皆さんの新しい門出に、心からお喜びを申し上げます。新成人という大きな節目を迎えられた皆さんは、これから一人の大人として、すべてのことに責任を負わなければなりません。勇気を持ち、柔軟な発想で揺らぐことのない人生基盤を築き上げてください。

また、皆さんが成人式を迎えることができるのは、たくさんの人の支えがあったからだと思えます。育ててくれた両親や恩師、支えてくれた友人、そして家族の方々への感謝を忘れてはいけません。

皆さんのこれからの人生には、楽しいことばかりではなく、多くの困難も待ち受けていることと思います。失敗を恐れず、積極的にチャレンジし、夢と希望に向かってがんばってください。



松本 崇

Takashi Matsumoto
(大村市長)



内野 勇生さん

Yuuki Uchino
(長崎県立ろう学校)

中学生の頃、将来の就職に役立てるため、窯業をもっと専門的に学びたいと思ったのがきっかけでした。

2年前からバドミントンに打ち込んでいます。就職先にもクラブチームがあるので、全国障害者スポーツ大会を目指してがんばりたいです。

自動車部品を製造する会社に内定が決まったので、これからは社会人として、また会社の一員として仕事に励み、後輩から慕われるような存在になりたいです。

野岳湖公園をおすすめします。自然豊かな大村を1年中満喫できる施設も整っているので、たくさんの人に足を運んでもらいたいです。

大村は住みやすいうえ、自然も豊富ですが、もっと子どもから大人まで楽しめる場所があればと思います。

カブトガニやスナメリなど、大村湾に生息する絶滅の恐れがある希少生物を保護するため、環境保全に力を注ぎ、大村の自然を守り続けたいです。



楠本 紗也さん

Saya Kusumoto
(長崎りハビリテーション学院)

私が高校1年生の頃に亡くなった祖母がきっかけです。もっと祖母とコミュニケーションを取りたかったという思いから、言語聴覚士に興味を持ち、専門的に学べる今の学校へ進学しました。

ボランティア活動の一環として老人ホームに出向き、食事介助を体験するなど、積極的にたくさんの経験を積むようにしています。

言語聴覚士の資格を取得し、コミュニケーションで困っている人の手助けはもちろん、精神面でも支えられるようなセラピストになりたいです。

長崎県の玄関口である長崎空港や県外でも知名度の高い「おおむら夢ファームシュシュ」に連れていきたいです。

花や緑が多いのと、空気が澄んで星がきれいに見えるところが大好き。一方で、大村湾に、ごみなどがたまっているのを見ると残念な気持ちになります。

大好きな大村の自然を生かしたまちづくりを行います。今でも清掃活動されていますが、もっと大村湾の再生に力を入れてみたいです。



市長が聞きました QUESTION

①今の仕事(職場)または学校を選んだ理由は何ですか。

②趣味あるいは興味をもっていることはありますか。

③現在の夢や、目標は何ですか。

④市外の友達に、大村を紹介するとしたらどこを案内しますか。

⑤大村市の長所・短所は何だと思いますか。

⑥あなたが市長だったら、何を一番はじめに手がけますか。





山脇 栞さん

Shiori Yamawaki
(長崎大学 経済学部)

幼少の頃から育った大村市のために働いて、地元で恩返ししたいという気持ちがあります。大学ではそのための勉強をしています。

小学生の頃から続けている卓球教室に通いながら、仲間と楽しく練習しています。毎週土曜日には小学生にも指導しています。

市に貢献できるような職に就きたいです。そして、大村が県内外から注目されるような、活発な活動に携わりたいです。

歴史に触れたり、魅力を発見できる「まち歩き」が好きなので、史跡やアーケードなどをめぐるコースを案内したいです。

気ままに歩いても必ず何か新しい発見ができる環境は魅力的ですが、県外のアピールが足りないと感じます。

全国に魅力を広める活動や観光客の誘致など大村に住んでもらえるような事業に取り組みたいです。そして「おむらんちゃん」の知名度アップにも励みたいです。



橋爪 貴さん

Takashi Hashizume
(防衛大学校)

近所に自衛隊の駐屯地があり、小さい頃から身近に感じ、自衛官に憧れたのがきっかけです。自分も人の役に立つ仕事に就きたいと思い、防衛大学校へ進学しました。

入学してからレスリングを始めました。今は関東一部リーグ昇格を目指して、日々練習に励んでいます。また、時間があれば得意の似顔絵を描いて息抜きしています。

立派な自衛官になることです。空の最前線で働くパイロットとして、部下の手本になるような、頼れる存在になりたいです。

森園公園の海辺沿いを歩いたり、野岳湖公園をツーリングするなど、自然を楽しみながら満喫できるコースを案内したいです。

県央に位置し、高速道路や空港などの交通アクセスの良さは自慢できますが、娯楽施設やスポーツ施設など、若者が集って活動できる場所が少ないと思います。

長所である交通の利便性を生かし、映画館やショッピングモールなどの複合施設を造って、もっと活気あふれる大村にしたいです。



福本 明日香さん

Asuka Fukumoto
(琴花園)

花屋さんになるのが夢で、高校時代植物について研究し、室内園芸装飾技能士の資格を取得しました。この資格を生かし、住み慣れた大村で花に携わる仕事をするため、今の職に就きました。

お菓子づくりと卓球です。卓球は社会人のチームに所属しながら、母校の卓球部のコーチをしています。

来年開催される長崎がんばらば国体の大村開催競技である、卓球競技を花のまち大村とともに盛り上げることです。

春は日本のさくら名所100選にも選ばれている大村公園でお花見、冬は萱瀬地区のイルミネーションなど、四季折々の大村を感じられる場所に連れていきたいです。

医療が充実しているのは安心して暮らせる利点ですが、若者向けの娯楽施設が少ないと感じるので、にぎわいの場を創出する施設ができればと思います。

花のまち大村をもっと県外にアピールしたいです。来てもらった人たちに癒しを与えられるような観光スポット作りを行います。





平成25年大村市成人式 新成人の誓い

晴れ着姿に彩られた928人の門出

「目標を持ち

挑戦しようとする」



はたけのり ひろき
中 大樹さん

成人式を迎え、ようやく二十歳としての第一歩を踏み出しましたが、私にはまだ実感がありません。しかし責任は徐々にですが感じていきます。

私は現在、大村消防署に勤務しています。消防士になるという夢が叶った今、新たな目標があります。それは救急救命士になることです。今は救急隊員として日夜救急現場へと出動しています。一つのミスも許されない現場では常に緊張感が漂い、一分一秒でも早く病院へ搬送しなければなりません。現場で言われる「ありがと」という言葉はなによりの私の宝となり励みとなっています。目標があると、それに向かって努力できます。目標に向かって努力し、私たちの若い力でこの大村のまちを盛り上げていきましょう。

話は変わりますが、私は仕事以外にも、さまざまなきこととに挑戦しています。体を動かすのが好きで、休日には趣味のバドミントンやロッククライミングをしています。特に、ロッククライミングは新しい趣味ですが、私に新たな世界を切り開いてくれました。新しい趣味を見つけることで、たくさんの人との出会いがなかりを生み、その人たちから自分は支えられ成長していることを感じました。今後いろいろなことにチャレンジし、人とのつながりを増やしていきたいと思っています。

二十歳になって自分自身急激に変化したわけではありません。しかし、長い人生を考えると二十歳の年は大きな節目の年です。一人の人間として大きな目標を持ち、数十年後の自分が今の自分を振り返った時に、胸を張れるような生き方をしたいです。(要約)



笑顔あふれる成人式に…

今年も新成人や来年度成人式を迎える皆さんが、ボランティアスタッフとして企画や運営などに携わっていただきました。スタッフの皆さんは「希望・勇気・責任」をスローガンにかかげ、笑顔があふれ、思い出に残る成人式となりました。

★企画運営スタッフの皆さん

- ▼伊藤千尋さん▼内野勇生さん▼鬼塚はるなさん▼楠本紗也さん▼田中桃子さん▼中村亜衣子さん▼畠中大樹さん▼濱崎蓮さん▼福添唯さん▼福本明日香さん▼山口龍雅さん▼山脇栞さん

(五十音順)

★ピアノ演奏を披露



ピアノ演奏
嘉村 真衣さん

★「大地讃頌」を全員で合唱





「希望あふれる

未来に向かって...」



たなか ももこ
田中 桃子さん

私は今日、無事成人式を迎えることができました。まだあまり成人の実感はなく、これまでとはなんだか違うような不思議な気持ちを感じています。

20年を振り返ると、さまざまな経験を重ねてきました。そして、多くの人と出会い、支えてもらってきたからこそ今の私があるのだと改めて感じています。私を生んで育ててくれた両親や、何も言わずとも気持ちを察し、気遣ってくれるきょうだい、必ず応援してくれる祖父母。家族だからこそ私の気持ちを受け止め、いつでも応援してくれました。また、私はたくさん友人や先生に恵まれました。嬉しいとき、悩んだとき、いつでも私のそばには誰かいました。今まで出会ったたくさんの人たちに対し心から感謝しています。

今、日本では暗いニュースを毎日のように耳にします。しかし、こんな時代だからこそ大人の仲間入りをした私たちが、夢や希望を持ち行動していくことが大切だと思います。私は今、教育学部に所属し、子どもの育ちについて学んでいます。子どものために働くことが夢であり目標です。その理由は、子どもは無限大の可能性を秘めており、将来の希望があると確信したからです。日本の未来を担う子どもたちへ、たくさん愛情を注ぎ、健全で豊かな心身の育ちを支援することで、私たちの未来への展望も開けるものと考えています。

そのためには、私自身がまずは自立した生活を送り、自分も他人も大事にできる人間になりたいと思います。そして、これからも多くのことを学び、周囲の人々に感謝しながら、夢を持ち続け、希望あふれる社会を担う一員として毎日精進していきたいと思えます。(要約)



司会
酒井 敦勢さん



ボランティアスタッフの皆さん

来年は私たちが
主役です！

★次期新成人の皆さん



「二十歳の募金」メッセージ

★募金活動を行いました
今回新しい取り組みとして募金活動を行いました。これは、東日本大震災を風化させないために、成人の日を迎えた皆さんが初めて行う社会貢献の共同作業として行ったものです。集まったお金は、被災された地域の保護者を亡くした子どもたちに寄付されます。